

U.S. Indicators

発表日: 2023年10月3日(火)

米国製造業の調整幅縮小が継続(9月ISM製造業指数)

～今後米自動車ストで一時的に低下するも米製造業部門の調整は終了に向け進展～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:050-5474-7493)

23年9月のISM製造業景気指数(季節調整値)は、49.0(前月47.6)と1.4%上昇し、市場予想中央値47.9(筆者予想46.9)を上回った。ヘッドラインの数字が3ヵ月連続で上昇し、製造業部門の調整幅縮小が示されており、製造業の悪化に歯止めがかっている。新規受注、入荷遅延が供給制約の改善や需要の鈍化によって50を下回っているが、在庫調整の進展などを受け持ち直しの動きがみられ、生産、雇用が50台となった。また、縮小した業種が18業種中11業種と前月の13業種から減少した。

ISM製造業景気指数は、世界経済の鈍化を背景に、拡大縮小の分岐点である50を11ヵ月連続で下回り、製造業の調整期間は金融危機が起きた08年9月から09年7月の11ヵ月に並んだ。ただし、底堅い需要等を背景に当時よりも落ち込みが小さく、製造業は深刻な調整を回避している。人手不足が続くなか、生産管理などの強化によって、雇用削減は限定的なものにとどまっている。

9月の構成項目別の変化では、入荷遅延が低下した一方、雇用、生産、新規受注、在庫が上昇した。構成項目別の総合指数への寄与度をみると、入荷遅延が前月比▲0.44%ptの押し下げ寄与となった一方、雇用が前月比+0.54%pt、生産が前月比+0.50%pt、新規受注が前月比+0.48%pt、在庫が前月比+0.36%ptの押し上げ寄与となった。

サブ項目では、輸出受注DIが47.4(前月46.5)と上昇し、輸出の減少幅縮小を示したほか、輸入DIが48.2(前月48.0)と上昇し、輸入の減少ペース鈍化を示唆した。

インフレの動向を示す仕入価格指数は、43.8(前月48.4)と50を下回って大幅に低下しており、財価格の下振れが示唆された。商品別では、天然ガス、原油、ディーゼル燃料等が上昇した一方、プラスチック樹脂、ポリプロピレン、アルミニウム、鉄鋼製品等が下落した。

供給不足品では、引き続き電気部品、電子部品、半導体などが挙げられた。

ISM製造業景気指数

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
22/09	51.0	47.3	51.0	49.3	55.1	52.4	50.9	51.7	47.8	52.6
22/10	50.0	48.2	51.9	49.9	53.0	46.8	45.3	46.6	46.5	50.8
22/11	49.0	46.8	50.9	48.9	51.1	47.2	40.0	43.0	48.4	46.6
22/12	48.4	45.1	48.6	50.8	52.3	45.1	41.4	39.4	46.2	45.1
23/01	47.4	42.5	48.0	50.6	50.2	45.6	43.4	44.5	49.4	47.8
23/02	47.7	47.0	47.3	49.1	50.1	45.2	45.1	51.3	49.9	49.9
23/03	46.3	44.3	47.8	46.9	47.5	44.8	43.9	49.2	47.6	47.9
23/04	47.1	45.7	48.9	50.2	46.3	44.6	43.1	53.2	49.8	49.9
23/05	46.9	42.6	51.1	51.4	45.8	43.5	37.5	44.2	50.0	47.3
23/06	46.0	45.6	46.7	48.1	44.0	45.7	38.7	41.8	47.3	49.3
23/07	46.4	47.3	48.3	44.4	46.1	46.1	42.8	42.6	46.2	49.6
23/08	47.6	46.8	50.0	48.5	44.0	48.6	44.1	48.4	46.5	48.0
23/09	49.0	49.2	52.5	51.2	45.8	46.4	42.4	43.8	47.4	48.2

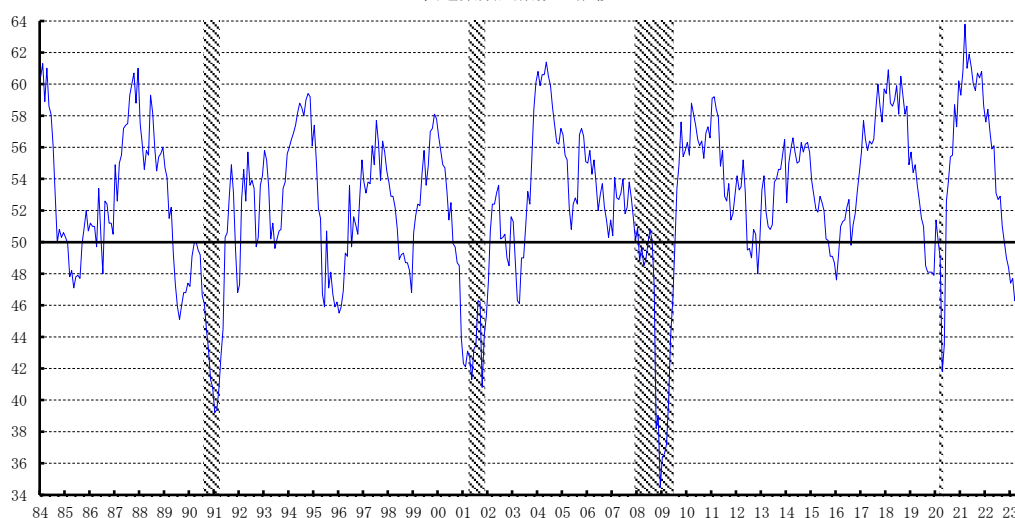
(出所) ISM: the Institute for Supply Management



9月は、全18業種のうち非鉄、食品・飲料・タバコ、繊維、一次金属、石油・石炭の5種の拡大にとどまり、8月の5業種と変わらなかった（下線は拡大・縮小が2カ月以上続いたことを示す）。主要6業種では、食品・飲料・タバコ、石油・石炭の2業種が成長した。一方、縮小した業種は、印刷・関連サポート活動、家具・同関連、プラスチック・ゴム製品、紙製品、加工金属、木材製品、コンピューター・電子機器、一般機械、電気設備・部品、化学製品、輸送機器の11業種と8月の13業種から減少した。アパレル・皮革製品、その他製造業は前月と変わらなかった。

先行きに関して、金利の大幅な上昇による需要鈍化に加えて、米自動車メーカーでのスト拡大によって、製造業部門の調整は当面続く可能性が高い。ただし、ストが終了すれば、挽回生産が期待できるほか、在庫調整の進展を背景に、製造業部門は拡大に転じると予想される。

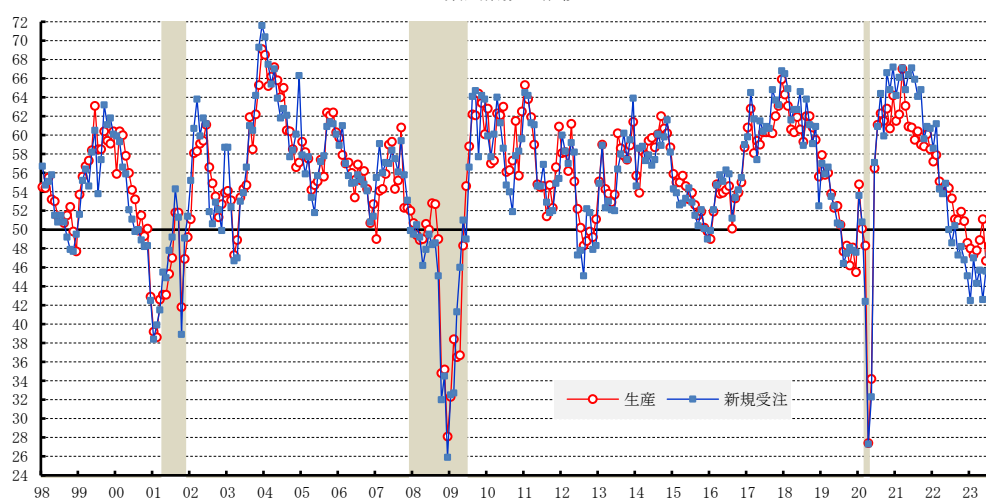
ISM製造業景気指数の推移



(出所) ISM

(注) シャド一部は景気後退期。

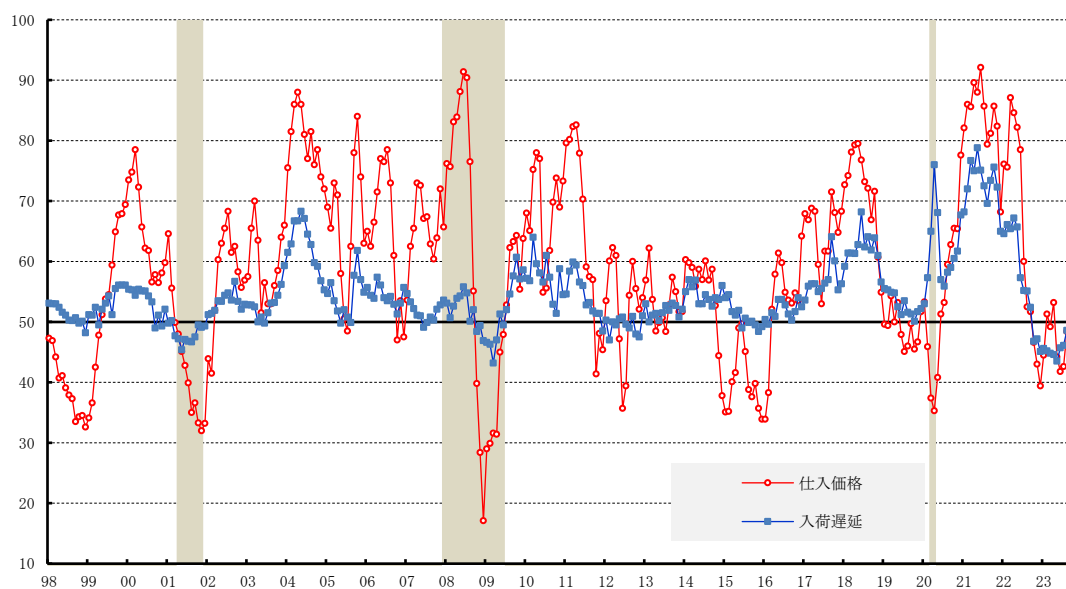
ISM景気指数の推移



(出所) ISM

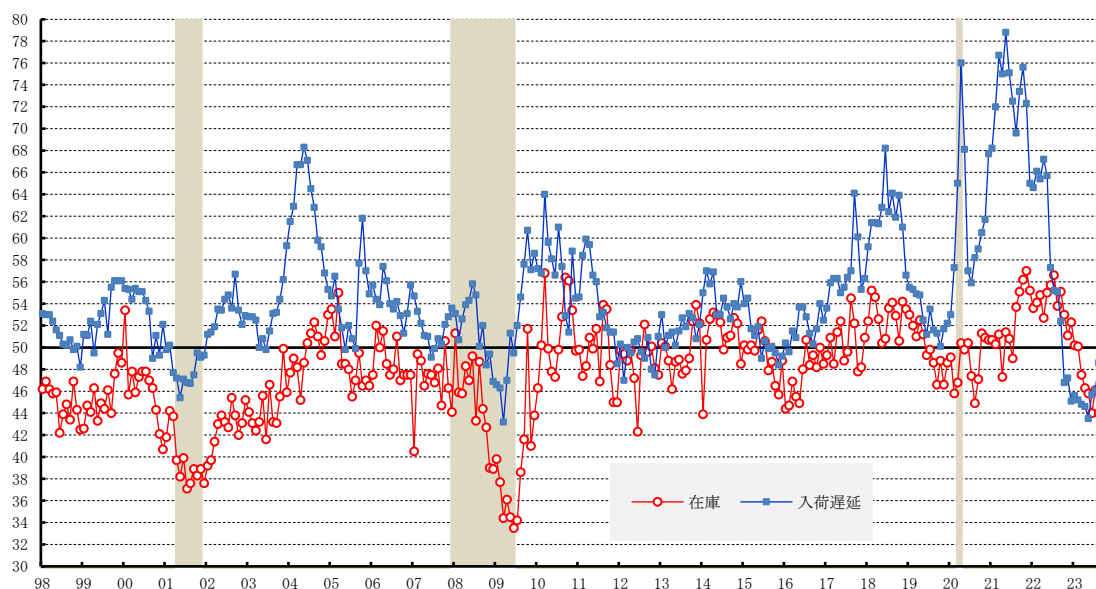
(注) シャド一部は景気後退期

ISM景気指数の推移



(出所) I S M (注) シャド一部は景気後退期

ISM景気指数の推移



(出所) I S M (注) シャド一部は景気後退期

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

